

「保育所児童保育要録」について

- この度、改定され告示化される保育所保育指針により、子どもの発達や生活の連続性等を踏まえて、保育所から小学校を通じて子どもの育ちを支えていくため、すべての保育所入所児童について、保育所から就学先となる小学校へ「保育所保育要録」を送付することとした。個人情報として適切に取り扱うことが求められる。
- 各市町村においては、「様式の参考例」を参考にし、それぞれの実情等を踏まえて保育要録の様式を作成し、管轄の各保育所に送付する。
- 保育所保育指針が施行される平成21年度から実施される。
- 保育要録の記入は保育所長の責任の下、担当保育士が行う。

◎記載する事項及び記載に際し留意する事項は以下のとおりである。

- ・ 入所に関する記録
 1. 児童名、性別、生年月日
 2. 保育所名及び所在地
 3. 児童の保育期間（入所及び卒所年月日）
 4. 児童の就学先（小学校名）
 5. 施設長及び担当保育士名
- ・ 保育に関する記録
 - 養護（生命の保持及び情緒の安定）に関わる事項
 - （1）子どもの生命の保持及び情緒の安定に関わる事項について、子どもの発達過程や保育の環境に関する事項等を踏まえて記載すること
 - （2）子どもの健康状態等について、特に留意する必要がある場合は記載すること
- ・ 子どもの育ちに関わる事項
 - 保育所生活全体を通して、子どもの保育を振り返り、子どもが育ってきた過程等を十分に踏まえた上で、主に最終年度（5、6歳）における子どもの心情・意欲・態度等について記載すること。

保育所児童保育要録

様式の参考例

ふりがな		性別		就学先	
氏名				生年月日	平成 年 月 日生
保育所名及び住所	(保育所名)	(住所)	〒	—	
保育期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (年 か月)				

子どもの養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項	(子どもの健康状態等)

項目	ね ら い(子どもを捉える視点)	子どもの育ちに関わる事項
健康	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	
	・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。	
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。	
人間関係	・生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。	
	・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。	
	・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	
環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。	
	・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	
	・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	
言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	
	・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	
	・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友達と心を通わせる。	
表現	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな表現を持つ。	
	・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	
	・生活の中でイメージを豊かにし、さまざまな表現を楽しむ。	

施設長名	(印)	担当保育士名	(印)
------	-----	--------	-----

- ※ 「子どもの養護(生命の保持及び情緒の安定)に関わる事項」は、子どもの生命の保持及び情緒の安定に関わる事項について、子どもの発達過程や保育の環境に関する事項等を踏まえて記載すること。また、子どもの健康状態等について、特に留意する必要がある場合は記載すること。
- ※ 「子どもの育ちに関わる事項」は、子どもの保育を振り返り、子どもが育ってきた過程等を踏まえた上で、主に最終年度(5, 6歳)における子どもの心情・意欲・態度等について記載すること。
- ※ 子どもの最善の利益を踏まえ、個人情報として適切に取り扱うこと。